

コトヌー市と港湾技術協力促進、若い世代の交流深化で合意 ～渡辺副市長と日本アフリカ友好横浜市会議員連盟がベナン共和国コトヌー市を訪問～

渡辺巧教副市長と日本アフリカ友好横浜市会議員連盟（以下「議連」）の佐藤祐文会長をはじめとするメンバーがベナン共和国コトヌー市を訪問しました。横浜市とコトヌー市は、平成 25 年 11 月に「交流協力共同声明」を行い、交流をスタートしました。今回、レアディ・ソグロ市長との会談を通じ、港湾分野の技術協力を促進し、また、若い世代の交流を深めていくことで意見が一致しました。今回の訪問は、ルフィン・ゾマホン駐日ベナン共和国特命全権大使及び在ベナン共和国日本国大使館のサポートで実現し、大使に現地での行程に同行いただきました。

コトヌー訪問概要：平成 27 年 11 月 9 日（月）～13 日（金）

11/9（月）	コトヌー着
11/10（火）	レアディ・ソグロ コトヌー市長会談、交流協力共同発表 塚原大貳 駐ベナン共和国日本国特命全権大使意見交換
11/11（水）	パトリック・イエリマ ベナン共和国海洋経済・港湾施設大臣表敬 たけし日本語学校訪問
11/12（木）	スルレレ小学校訪問 コトヌー自治港訪問、意見交換 アドリアン・ウンベジ ベナン共和国国民議会議長表敬
11/13（金）	ボニ・ヤイ ベナン共和国大統領表敬 コトヌー発
11/15（日）	日本着

（1）コトヌー市長会談（10 日午前ほか）

レアディ・ソグロ コトヌー市長と会談しました。ソグロ市長は、横浜との都市間連携の重要性を強調し、「横浜は太平洋に、コトヌーは大西洋にそれぞれ開かれた港町。今回のご訪問は 2 つの海を大きな橋で結びつけるもの」とスピーチしました。渡辺副市長は、林市長のメッセージを手渡すとともに、「都市の経験・課題を積極的に共有し、両市の更なる発展を目指しましょう」と呼びかけました。両者は、港湾分野の協力や若い世代の交流を進めていくことで意見が一致し、会談内容を「横浜・コトヌーの交流協力共同発表」にまとめました。



（2）たけし日本語学校訪問（11 日午前）

代表団は、ゾマホン大使が 2003 年に設立したベナン初の日本語学校を訪れました。日本語を学ぶ生徒の皆さんが「日本で経済学を学びたい」など将来の夢を語り、また、同校の先生は「生徒の成長が何よりの生きがい」と挨拶しました。佐藤会長は、横浜デジタルアーツ専門学校の皆さんが日本・横浜の文化をベナンに紹介するために作成した仏語の「かけはしジャーナル」などを生徒の皆さんに手渡し、「将来ぜひ日本・横浜にきてください」とスピーチしました。



(3) スルレレ小学校訪問 (12 日午前)

市内のスルレレ小学校で、幼稚園児、小学生約 700 名が歌とダンス、日本語による挨拶で訪問団を迎えました。渡辺副市長は、昨年スルレレ小に机と椅子を寄贈した橘学苑（鶴見区）中学校・高校生徒会の皆さんからお預かりしたメッセージ（写真右）をお渡ししました。また、栄区（*）にある市立笠間小学校を紹介し、同校が音楽を通じた交流に関心をもっていることをお伝えしました。

*栄区は、平成 25 年からアフリカへの理解を深める講座を開催するなど、アフリカとの交流に力を入れています。



(4) コトヌー自治港訪問 (12 日午前)

今後の港湾分野の協力に向け、コトヌー自治港を訪問し、港の運営や保安設備などを視察しました。面会したサミュエル・バチョ コトヌー自治港代表からは、「コトヌー港はベナン経済の中心であるだけでなく、ニジュールなどへの中継地として非常に重要な役割を担っており、一層の成長・発展を目指していくため、人材育成や課題解決のノウハウの提供など横浜港に協力をお願いしたい」と渡辺副市長に依頼がありました。今後 JICA と協力しながら、同港の専門家による横浜港の視察・研修を行い、経験・課題の共有を進める予定です。



(5) アドリアン・ウンベジ 国民議会議長表敬 (12 日午後)

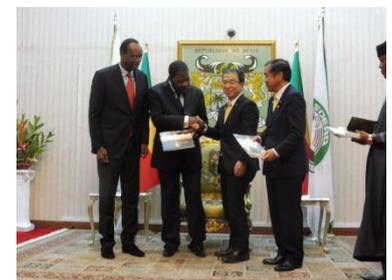
アドリアン・ウンベジ 国民議会議長が同議会議員 12 名とともに代表団を迎え、「横浜とコトヌーの連携に大きく期待している」とスピーチしました。出席議員からは、「横浜が 2 回のアフリカ開発会議（TICAD）の開催都市になったことで「日本でアフリカといえば横浜」というアイデンティティができた」とコメントがあり、また、ベナンの国民議会議員有志で「ベナン日本友好議員連盟」を立ち上げようと準備していることが紹介されました。佐藤会長は、「アフリカとの連携に行政だけでなく議員として取り組んでいきたいという思いで日本アフリカ友好横浜市議員連盟を立ち上げた。人と人とのつながりを大切に、若い世代の交流など、議連としてもしっかりと取り組んでいきたい」と挨拶しました。



(6) ボニ・ヤイ ベナン共和国大統領表敬 (13 日午後)

佐藤会長が「2013 年の TICAD V の際、ヤイ大統領を横浜でお迎えでき大変光栄。議連としてベナン、そしてアフリカとの交流を深める活動に力を尽くしていきたい」、渡辺副市長が「横浜・コトヌーの協力を一層具体化し、日本・ベナン両国の良好な関係に貢献していきたい」と、それぞれ挨拶しました。

これに対しヤイ大統領は、「横浜の皆様実際にベナンを見ていただきとても嬉しい。横浜とコトヌーの都市間関係が港湾分野の連携などにつながってきていることが素晴らしい。今後も関係を深めていただきたい」と期待を表明しました。



※掲載写真の提供をご希望される場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。

《次ページ参考あり》

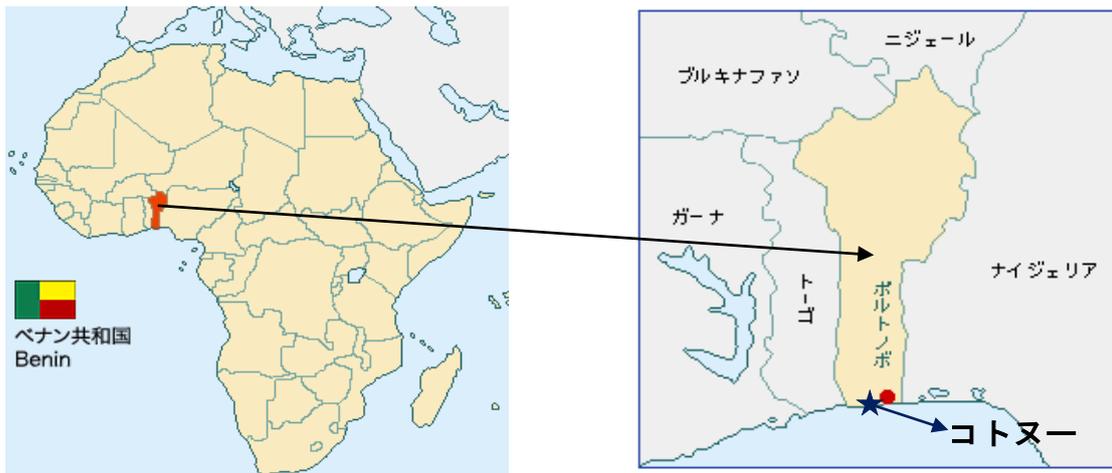
お問合せ先		
国際局国際連携課アフリカ中東担当課長	富岡 典夫	Tel 045-671-3813 (全体)
議会局政策調査課長	吉田 雅彦	Tel 045-671-3006 (議連出張)

《参考》

コトヌー市

ベナン共和国の事実上の首都（憲法上の首都はポルトノボ）。ベナンを代表する港湾都市で、ベナン経済の中心。市内には空港や各国大使館などがあり、多くの首都機能もコトヌーに置かれる。「ベナンの二大産業は、綿花産業とコトヌー港での港湾サービス業」で、「ベナンは隣接するナイジェリアや、ニジェール・ブルキナファソといった内陸国への貿易中継点となって」いる（在ベナン日本国大使館資料より）。

平成 25 年 11 月、横浜市とコトヌー市は、共に成長する理念を共有するパートナーとして、交流協力共同声明を行っている。



(外務省 HP より)

日本アフリカ友好横浜市会議員連盟

横浜市会は、第4回及び第5回アフリカ開発会議の横浜開催を契機に、ガーナ共和国大統領をお招きしての議場演説、ベナン共和国大統領歓迎昼食会など、アフリカ諸国との交流を行っている。平成 27 年 2 月、アフリカ諸国との友好をさらに深めることを目的に、市会議員有志（超党派）で同連盟を設立（会長：佐藤祐文議員）。今回、佐藤会長をはじめ 13 名がコトヌー市を訪問。